

令和4年度 美術の学校  
「赤ちゃん&こどもアート鑑賞会」  
開催結果報告

日 時：令和5年1月28日(土) 午前10時～11時、午後2時～3時

参加人数：0歳～小学生までのお子さんと保護者：36人

午前：子ども13人、大人11人、合計24人（9組）

午後：子ども5人、大人7人、合計12人（5組）

参加費：無料（保護者は三岸節子コレクション展（常設展）観覧料320円が必要）

講師：富田めぐみ先生

（NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事）

職員：野田、丹野、大村

講師に、全国の美術館で赤ちゃんや子どものための鑑賞会や、造形ワークショップを開催している、NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事の富田めぐみ先生をお招きして、鑑賞会を開催しました。

対象は、0歳～小学生までのお子さんと保護者の皆さんです。0歳5か月の赤ちゃんから、8歳の小学生までさまざまなグループの皆さんが集まりました。今回は、お父さんとお子さんという組み合わせも目立ちました。

最初に、富田先生のお話を皆で聞きました。歩き始めた子どもたちが、絵に向かって行ってしまうのは好奇心がある証拠。そこで絵を守るためには、強く押さえるのではなく「あったかタッチング」をして子どもを落ち着かせてあげましょう。そんな実演を、参加者の子に協力してもらいながら行いました。協力してくれた男の子もじっと落ち着いてお話を聞いています。



富田先生と「美術館でのおやくそく」を確認した後は、いよいよ三岸節子コレクション展（常設展）

「咲き誇れ花々よ」の展示室に皆で入って行きました。「美術館に来るのは今日が初めて」という子も多く、ベビーカーから身を乗り出してお友だちの様子を見たり、置いてある本に興味をもったりと反応は様々です。「気になる絵を見つけてみましょう。好きな絵、不思議な絵、よくわからないけど気になる絵でもOKです。」という富田先生からのお話を覚えていて、さっそく気になった絵を前に家族の方とお話しする場面もみられました。



大画面の作品《室内》（1939年）には、ひきつけられる子が多数いました。0歳5か月の赤ちゃんは、この作品を前に喃語を発して、お父さんお母さんとおしゃべりをしたそうです。鮮やかな色彩が、小さな子にも刺激になったのでしょうか。また2歳9か月の子は「カラフル。」と言っていました。カラリストと評される節子の作品の魅力が子どもたちにも伝わっているようです。4歳の子は「なんだか不思議でず



っと見ていたい」と。中央のエキゾチックなタペストリーが醸し出す雰囲気を感じ取っていたのかもしれませんが。「色の組み合わせがいい。」という意見もあり、マティスの影響が色濃いこの時期の作品の特徴を子どもたちも感じ取り、楽しんで鑑賞していたようでした。

小さな子が興味を持つのは、カラフルな絵ばかりかということ、そうでもないことがこの鑑賞会からもわかりました。富田先生の長年のご経験からも、小さな子は白と黒などコントラストのはっきりした絵画に反応を示すことも多いということです。例えば、《トネールの白い川》（1980年）は、白・グレー・黒といった無彩色を中心に描



かれていますが、0歳11か月の子が「ダッダッ。」と喃語を発したり手を伸ばしたりと、一番反応の良かったのがこの作品だったそうです。6歳9か月の子もこの絵がおもしろいと思って見ていたということです。後日アップする「鑑賞動画」で、富田先生に詳しく解説いただいています。

午前の回では展示を見た後、講義室に戻り、「気になった絵」の図版をプロジェクターに映して感想を発表しました。お話しできる子は自分で発表し、赤ちゃんは家族の方に反応などを教えていただきました。「人の前で発表する機会があってよかった」というご意見もありました。



午後の回では、比較的人数に余裕があったことから、展示室内で「気になった絵」を発表してもらいました。いつもと違う場所、初めてのおともだちや大人の中で、一生懸命に思いを伝えてくれました。



今回で2回目となる富田めぐみ先生をお招きしての「赤ちゃん&子どもアート鑑賞会」ですが、1回目と比べてお父さんの参加が増え、乳児の割合が増えるなどの変化がありました。富田先生のお話しにもあったように、絵を前にした子どもの反応をよく見て「何を考えているのかな、何が言いたいのかな」と考えてコミュニケーションすることは、日常の子育てにも大いに役立ってきます。「初めて参加して泣いたらどうしようかと申込するとき不安でしたが、とても楽しかったようで来てよかったです。」という1歳4か月の子のご家族からのご意見をいただきました。当館はこれからも赤ちゃん、子育て世代を含めた全ての方に開かれた社会教育施設として、気軽に足を運んでいただけるよう、企画していきたいと考えます。(学芸員 野田)

